

天ヶ瀬・八重坂にも反対者がいることの認識は

市長／認識している。



下田 利春 議員

防災対策について

議員 新圃に建設中の太陽光の雨水排水経路の下流においては雨水災害が多発している。被害を受けられた方を中心に雲仙線への雨水流入反対（自然流体へ戻す）の署名を提出している。個人的に災害被害があったときの補償は誰がするのか。

市長 生活環境と自然環境の保全、本事業に起因する災害等の発生を防止を目的とした協定を結んでいる。

議員 被害があっても業者が起因と認める訳がない。

い。反対者や地元住民の意見を聞き、万全の対策を立て、住民が納得する方法で進めるべき。

地形に沿った流体に戻してこれとの反対者の方と話し合いや説明をしているのか。

建設部長 建設部管理課の職員が出向き、反対の趣旨の確認を行った経緯はある。

議員 一回しか面会しないで反対者に対応したと言えるのか。業者の言うとおりにすれば嘆願はどうでも良いのか。

また、天ヶ瀬・八重坂にも反対者がいると、市長は認識しているのか。

市長 反対の署名をいただいている、当然そういう方々がいらっしやる事は認識をしている。

議員 認識しているのか。



昨年嵩上げしなければ大変なことになっていた

なぜ無視して進めるのか。市民の皆さんも良く判ら

れたと思う。市民が反対しても今の執行部は受け付けない証明である。

次に、議会だよりや業者の説明でも水害は起きない。環境省、国土交通省の基準もクリアとなっている、何が基準か。

副市長 国立公園法に基づいた開発許可が必要で所管は環境省であり、市は許可権者でもなく、強制権もない。

議員 環境省の許可は公園法の許可であり、新圃は国道57号線に泥流が流れなければ許可、下流域を含めた許可ではない。この件は次回も質問する。

その他の質問

・以前市が係わった事実。分筆については質問しました。

新学校給食センター建設については白紙に戻し、再スタートすべきである

市長／議員の思いを受け止めておく。



小林 知誠 議員

新学校給食センター建設について

議員 建設費が12億円から20億円になった理由について伺いたい。

教育次長 総合的に計算して約21億円、上昇率を乗じて21億円になった。

議員 計算して21億円になった元の金額は何か。

教育次長 平成28年に提示した11億円である。

議員 平成28年の建設費概算11億円が3割上がった。平成29年の建設費も20億円にはならない。

議員 平成29年の林田議員への答弁には、電気機械費8億円が入っている。しかし、平成28年の資料には心臓部の電気機械が入っていない。教育委員会が、虚偽の資料で、議会・市民を愚弄するものだ。これまで一連の市教委の態度を市長は許せるか。

市長 建設費が倍近くになっている。これは精査が足りなかった。陳謝をしたい。

議員 論点をすり替えるな。平成29年の費用には電気機械費8億円が入っている。平成28年の費用からは電気機械費8億円が省いてある。精査の結果値上がりしたのではない。

教育次長 平成28年の工事請負費6億8,723万円の中には、電気設備工事費等も入っている。

議員 工事請負費6億8,000万円の中に電気工事費8億円が入っているなどというそんなでたら

めは誰も信用しない。市教委は、このようにして議会を愚弄して、了解を得た。白紙に戻し、再スタートすべきである。

市長 小林議員の思いを受け止めておく。

やすらぎ苑のトイレ設置について

議員 葬儀が2つ重なった場合、大変混雑して困る状況である。また、多目的トイレがない。増築する必要があると考えるが。

市長 検討を指示している。



やすらぎ苑